



開邦雄飛 JH

開邦中学校 学校通信
教頭：幸地 健次 No 1



PTA総会・授業参観・卒業生講話

去る5月10日(土)に開邦中学校・高等学校PTA総会・授業参観・卒業生講話が行われました。多くの保護者が参加いただきました。ありがとうございます。授業参観には中学だけで、延べ250名以上の保護者の参観があり、開邦生の保護者の意識の高さを感じました。新入生の保護者にとっては、「友達できたかな」「授業にはついていけているかな」と心配な時期だと思います。参観の状況を見ながら、夕食時間の家族のだんらんで会話のネタとして活用し、学校のことをいつでも話せる雰囲気を作ってほしいです。また、後半は卒業生による進路講話が行われました。大学入試を乗り越えた先輩の声は、どれもたくましく、参考になるものでした。学校通信を通していくつか紹介します。お子さんと進路について、話し合ってください。



肥後 翔太 37期 (内進生)	東京大学 経済学部 経済学科 (学校推薦)
志良堂 結 37期 (高入生)	筑波大学 総合選抜 文系 (一般前期)
島袋 由菜 37期 (高入生)	東京学芸大学教育学部 教育学科 保健体育コース (一般前期)
渡邊 義弘 37期 (内進生)	京都大学 理学部 理学科 (一般前期)
玉城 碧乃 37期 (内進生)	岡山大学 医学部 医学科 (一般前期)
阪 健太郎 37期 (高入生)	北海道大学 医学部 医学科 (一般前期)

気になった講演会の内容を紹介します。

・東大に行く決めて、学習時間を確保した。毎日規則正しい生活を行った。／東大の推薦は条件がある。自分も論文作成などを行い全国大会に2度参加して推薦の条件を満たした。／受検に向けては自己分析が大切。最後まで伸びると信じて頑張った。後半にすごく伸びたように思う。

○塾には行っていなくて、進路の赤本や放課後講座を利用して受験に臨んだ。先生に添削依頼して、論文の学習を何度も行った。／親は、いつも前向きに激励してくれたり、飛行機のチケット宿等も早くから押さえてくれて感謝している。何より弁当がおいしかった。

○合格率50%が「ボーダー」と呼ばれている。自分はボーダーに少し足りなかったが、2次の結果を高く評価してくれる大学だったので、作戦を立てて必死に勉強した。玉那覇先生の「参考書を閉じる瞬間まで伸びる」の言葉を信じて、寸前まで頑張ったことが良かったと思う。／オープンキャンパス等で、実際に大学の雰囲気を知るとは良い経験になり、モチベーションを高める効果があった。

○2次対策は、15年分ぐらい演習を行った。演習量は十分だったと思う。面接練習は、先生方がフォローしてくれるので大丈夫。共通テストも、参考書を3回転して学習した。